

平成 29 年 8 月 4 日

各 位

会 社 名 アクモス株式会社
代 表 者 名 代表取締役会長兼 CEO 飯島秀幸
(コード番号 6888 JASDAQスタンダード)
問 合 せ 先 執行役員 管理本部長 中川智章
(TEL 03-5217-3121)

第27期経営計画に関するお知らせ

当社は、平成29年8月4日発表の「平成29年6月期 決算短信」において、第27期(平成29年7月1日～平成30年6月30日)の業績予想を発表いたしました。その業績予想の根拠となっております第27期の経営計画について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画 I (2016/07-2019/06)初年度の進捗

当社グループは、社会に必要とされる企業であり続けるため、2025 年 6 月期までに取り組むべき事業の方向性を示した「長期ビジョン 2025」を制定し、「長期ビジョン 2025」の最初の 3 年間に実行する計画「中期経営計画 I (2016/07-2019/06)」を策定いたしました。「中期経営計画 I (2016/07-2019/06)」におけるテーマ「変革」に基づき、産業や技術分野等特定の対象を深耕し、当社グループの技術を生かしたソリューション、サービスを提供する専門特化による事業変革を進めております。

「中期経営計画 I (2016/07-2019/06)」初年度となる第 26 期は、専門特化による事業変革の実現に向け、アライアンスの推進と新サービスの創造、専門性の高い人材の育成を進めてまいりました。また、第 25 期に当社で導入した部門別採算管理制度“ウイングシステム”を、第 26 期よりグループ全社で導入し、全員参加経営の実現による付加価値増大にむけて取り組みました。

以上の取り組みに加え、IT サービス事業においてストレスチェックを中心とした EAP 関連業務の売上が拡大したことから、第 26 期の連結業績は、売上高 4,062 百万円(計画比 1.6%増)、営業利益は 146 百万円(計画比 21.7%増)、経常利益は 158 百万円(計画比 21.5%増)、親会社に帰属する当期純利益は 143 百万円(計画比 43.0%増)となりました。また、当中期経営計画より採用した経営指標である、株主資本利益率(ROE)は 10.8%(計画値 7%)、時間当たり付加価値は 3,073 円(計画値 3,000 円)と、計画を上回る結果となりました。

	第 26 期 (2017 年 6 月期) 実績	第 26 期 (2017 年 6 月期) 中期経営計画値	差異
売上高	4,062 百万円	4,000 百万円	62 百万円
営業利益	146 百万円	120 百万円	26 百万円
経常利益	158 百万円	130 百万円	28 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	143 百万円	100 百万円	43 百万円
株主資本利益率(ROE)	10.8%	7%	—
時間当たり付加価値	3,073 円	3,000 円	73 円

※時間当たり付加価値は以下のように定義しております。

$(\text{収入} - \text{労務費以外の経費}) \div \text{総稼働時間} = \text{時間当たり付加価値}$

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 第 27 期 経営計画の概要

当社は対処すべき課題として、IT ソリューション事業においては、受託開発分野の収益性の改善、受注拡大にむけた人材の確保、公共関連中心のビジネスモデルからの脱却のための自社製品の開発と販売促進、IT サービス事業においては、健康管理システムの提供に伴う個人情報管理体制の整備とセキュリティ面の安全性確保が必要だと考えております。

第 27 期は「中期経営計画 I (2016/07-2019/06)」2 年度目として、前期に実施してきた施策を継続するとともに、対処すべき課題の解決を図ってまいります。

(1)経営環境

我が国の経済は、雇用情勢の改善や堅調な企業収益、世界景気の改善傾向により、ゆるやかな持ち直しの傾向にあります。しかし一方で、人手不足などによる企業収益への懸念もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの情報技術事業分野においては、システムの再構築や統合、クラウドサービスへの移行に伴う IT 投資が拡大しており、情報システムへの依存が進むにつれ情報セキュリティ対策の重要性が高まっております。また、社会問題となっている長時間労働の是正やワークライフバランスの推進、労働生産性の向上にむけた「働き方改革」「健康経営」といったテーマでは、IT の活用が注目されております。

(2)経営目標(定性目標)

基本方針

- 1)時流に適応した ICT で、お客様にとって価値あるサービスを生み出し続ける
- 2)部門別採算管理ウイングシステムを活用し、社員の成長と付加価値創出を目指す

事業戦略

- ・専門特化による顧客創造
- ・顧客とのパートナーシップ醸成
- ・オープンイノベーション志向によるアライアンス推進

⇒専門特化にむけた施策を継続

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| 1)情報セキュリティ | :対象をネットワークに絞り、お客様のセキュリティパートナーを目指す |
| 2)業種特化型 ICT | :病院内情報システム運用支援業務における人材確保とさらなるシェア拡大 |
| 3)空間情報の利活用 | :自社製品の開発と販売の促進 |
| 4)BPO ソリューション拡張 | :LIFEDESK のサービス拡充と販売促進 |

組織戦略

- ・グループ全体でのルール統一
- ・ウイングリーダーの計画達成に対する意識の向上

⇒ウイングシステムの確立を目指す

人材育成

- ・専門性の高い多様な人材の育成

⇒社員が成長を実感できる仕組みの改善

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

(3)経営目標(定量目標)

当社では中期経営計画の業績目標数値を毎年見直すローリング方式を採用しており、直近の事業環境を踏まえた見直しの結果、第 27 期の連結業績の見直しにつきましては、売上高 4,200 百万円、営業利益 155 百万円(計画比 26.2%減)、経常利益 170 百万円(計画比 22.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益 150 百万円(計画比 22.1%減)、経営指標である株主資本利益率(ROE)は 10%(計画値 12%)、時間当たり付加価値は 3,200 円と予想しております。営業利益が計画比で減少となる理由につきましては、IT ソリューション事業、IT サービス事業ともに、自社製品の開発と販売促進を計画しているためとなっております。

	第 27 期 (2018 年 6 月期) 予想	第 27 期 (2018 年 6 月期) 中期経営計画値	差異
売上高	4,200 百万円	4,200 百万円	0 百万円
営業利益	155 百万円	210 百万円	△55 百万円
経常利益	170 百万円	220 百万円	△50 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	150 百万円	190 百万円	△40 百万円
株主資本利益率(ROE)	10%	12%	—
時間当たり付加価値	3,200 円	3,200 円	0 円

以 上

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。